

130102一般診療所における死亡災害事例（1999-2022年）

年	月	発 生 時	死亡災害事例	起因物 (小)	事 故 の 型	労 働 者 規 模
2021	4	10 ～ 12	入院病棟において新型コロナウイルス感染症の陽性判定となった患者が3名確認され、被災者は当該患者の食事、排泄及び介助等を行っていた。発熱症状があり他の医療機関でPCR検査を実施した結果、陽性と判明した。その後、自宅療養していたが状態が悪化し他の医療機関へ入院した。その後、状態が軽快したため他の医療機関へ転院したが再度状態が悪化し、死亡したものの。	911	90	30 ～ 49
2021	12	10 ～ 12	ビルで火災が発生し、事業場所属の労働者含む計28名が負傷しうち27名が心肺停止状態となったもの。心肺停止状態の27名のうち、事業場の代表者及び労働者5名の計6名の死亡が後日確認されたもの（報告日時点）。	512	16	10 ～ 29
2021	12	10 ～ 12	ビルで火災が発生し、事業場所属の労働者含む計28名が負傷しうち27名が心肺停止状態となったもの。心肺停止状態の27名のうち、事業場の代表者及び労働者5名の計6名の死亡が後日確認されたもの（報告日時点）。	512	16	10 ～ 29
2021	12	10 ～ 12	ビルで火災が発生し、事業場所属の労働者含む計28名が負傷しうち27名が心肺停止状態となったもの。心肺停止状態の27名のうち、事業場の代表者及び労働者5名の計6名の死亡が後日確認されたもの（報告日時点）。	512	16	10 ～ 29
2021	12	10 ～ 12	ビルで火災が発生し、事業場所属の労働者含む計28名が負傷しうち27名が心肺停止状態となったもの。心肺停止状態の27名のうち、事業場の代表者及び労働者5名の計6名の死亡が後日確認されたもの（報告日時点）。	512	16	10 ～ 29
		10	ビルで火災が発生し、事業場所属の労働者含む計28名が負傷しうち27名			10

2021	12	～	が心肺停止状態となったもの。心肺停止状態の27名のうち、事業場の代表	512	16	～
		12	者及び労働者5名の計6名の死亡が後日確認されたもの（報告日時点）。			29
2003	7	8	足に痺れを感じて病院で足の治療を受け、2日後に再度診察を受けたところ	911	90	1
		～	MRI検査により「脳梗塞」と診断され、入院治療を行っていたがトイレで倒			
		9	れて死亡した。			9

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pg/SIB_FND.html(職場のあんぜんサイト)

https://www.jisha.or.jp/international/topics/202311_01.htmlに戻る。